

令和4年度第1回学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和4年5月13日（金）14：40～16：30
- 2 場所 湖南高等学校 図書室
- 3 参加者
委員（敬称略・順不同）
佐藤 忠男、石田 慶仁、満田 仁一、薄 良枝、片平 力也、山口 正国、酒井 祐治
事務局
渡辺 延幸、星 祐司、森 修、三橋 和佳、久住 貴紀
、五十嵐 稜、大山 洋子
- 4 内容
 - (1) 開会のことば 星教頭
 - (2) 校長あいさつ
コミュニティ・スクール3年目になります。今年度も委員の皆様には引き続きよろしく
お願いいたします。
今年度は16名の新入生を迎え、在籍人数56名でスタートいたしました。数多くのイ
ベントを通して生徒たちがアイデアを考え、そこで学んだことを将来の進路に役立て
てくれればと思っています。また、イベントをするにあたり、委員の皆様や地域の方々に
無理なお願いをすることがあるかもしれませんがご了承ください。
 - (3) 出席者自己紹介
 - (4) 会長、副会長互選
昨年に引き続き、会長を小山 伝一郎さんに、副会長を満田 仁一さんをお願いしたいと
思います。よろしくお願いいたします。
 - (5) 会長、副会長あいさつ 満田 仁一副会長
今年度も引き続き副会長をすることになりました。皆さんからアイデアをいただけ
れば、できるかできないかは別にして色々と試していきたいと思しますのでよろしくお
願いいたします。
 - (6) 協議
 - ① 令和4年度学校経営・運営ビジョンについて 酒井校長
資料参照
・現在コミュニティ・スクールに指定されている学校は6校ありますが、その中で
も湖南高校は、特に活発に活動している学校だと思えます。これも運営協議会が機
能しているからであり、今後もこれまで同様に活動していければと思えます。
 - ② 令和3年度学校運営協議会活動報告 星教頭 森教諭
資料参照
・2学年が中心となり、そば粉を使った六次化商品の開発と古民家再生を実施。ま

た、全学年で種まきから収穫・脱穀、そば打ちまでを行う事業「蕎麦プロジェクト」を展開した。

- ③ 令和4年度学校運営協議会活動計画 星教頭
資料参照

- ④ 学校の魅力化のための意見交換

●学校の魅力発信について

・中学時代は、休みがちだった生徒が、湖南高校では休むことなく楽しく学校生活を送っているということ、中学校の先生や保護者に伝わると入学希望者も増えるのではないか。

・兄弟での湖南高校への入学者が多いのは、生徒や保護者の湖南高校への満足度が高く魅力的だからであり、それをどのようにして伝えるかが課題だと思う。

・湖南町にいる人だけでなく、郡山市内の人に向けて湖南高校を含め湖南町の魅力を発信・交流していかなければいけないと思う。

・今はSNSを活用して世界中に湖南の魅力を発信することができる。昨年1年生が専門家の講演を聴き勉強したので生徒らと一緒に発信する予定。

●学校のさらなる魅力化について

・今年は「布引まつり」や「花火大会」を実施予定。将来的には高校生が実行委員として企画運営側に参加してもらいたい。

・交流人口を増やし湖南を知ってもらうため、6月4日に城北埼玉高校と合同で田植えを行う予定。

・11月頃に、福島明成高校、福島商業高校、耶麻農業高校を招いて交流会を検討中。福島明成高校のシクラメンの販売会や福島商業高校が商品開発した商品の販売、耶麻農業高校と湖南高校のそばの食べ比べなどを考えている。

・コロナが落ち着けば東京日本橋にあるMIDETTE（ミデッテ）での蕎麦の実演・試食・販売を実現させたい。生徒たちにいろいろな経験させて充実感を得させることが湖南高校の魅力だと考える。→6月25日（土）実施予定

・本年度も東京国際大学講師の前先生に研修を依頼したい。

・米粉は加工が難しくなかなか浸透しないが、米粉の商品の開発もしていきたい。

- (7) 閉会のことば 星教頭

※諸連絡

次回、第2回は7月6日です。よろしくお願いいたします。

(16:20 終了)